

P  
班

教職員の共通理解  
かできていない

① 実態把握シート

必然性のある  
学び合い△

生徒が主体的に  
参加する授業△

話し合い力が弱い  
考えを表現するのが  
苦手

学校の課題

自分の考えと課題  
のやり

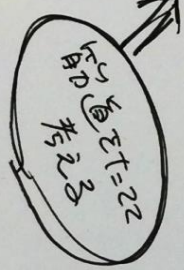
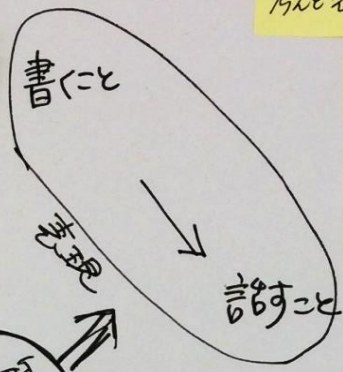
漢字を讀むより  
書くことが苦手

自分の考えを展覧に  
話し合うことが苦手

伝えたい事項が  
明確に伝わるように書く  
ことが苦手

資料から根拠を元に  
自分で記述する力が弱い

友の考えを聞いて  
自分の考えを深めたい  
話す聞く力に困る  
力が弱い  
発表の機会不足



本文を根拠に想像  
して書くことが苦手

根拠を明確に  
考えを伝える力△

活用(1)(2)が全体  
的に低い

教員の組織力の向上への  
授業力向上への

授業の振り返りに  
「わかった」とない

基礎基本の  
定着不足

課題設定や発問  
△

問ひ返しの工夫△

15分課題に対して  
解決方法を考えない

基本的な知識を  
身につけていない  
理解が浅い

⑧ 問題-解法-考えの  
系統で課題を考えていない

説明、記述すること  
が苦手

基礎基本の定着に  
差

問題の理解が  
(比較的)足りない

学習意欲に差

考えを語り聞か  
せていない

課題をまとめると...

基礎基本が不足している  
考えを表現することが苦手  
教員の組織力の向上

研究主題 学び合いを通して、自分の考えをもち表現できる 生徒の育成	
研究教科	小学校:国語・算数 中学校:全教科
目指す子供の姿	目指す授業像 <ul style="list-style-type: none"> <li>○基礎基本の定着を図る授業</li> <li>○学ぶ意欲を高める授業</li> <li>○自分の考えを表現する場のある授業</li> </ul>
研究の重点(柱) 2つ~3つ A 授業改善 B 家庭学習の強化 C	
A:授業改善の視点(3つ程度) ① 課題設定や発問の工夫 ② 考えを表現する場の設定の工夫 ③ 振り返りの時間の確保	

※以下は、上記の重点A:「授業改善の視点」の中から1つまたは2つ選び検討してください。

A: 授業改善の視点に対する教師の具体的手立て

<p>②番</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアやグループ学習のさらなる推進</li> <li>・教具の使用 (ホワイトボード など)</li> <li>・他者の受け入れる雰囲気作り</li> <li>・別の生徒に <sup>考えを</sup> 再度説明させる</li> <li>・言語活動の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読みきかせ (持込との関連) (小中連携)</li> <li>・個人思考の時間の確保</li> </ul>
---	---

A: 授業改善の視点に対する教師の具体的手立て

番

③ 計画シート

P 班

月	内容
4月	研究方針の提案 目指す授業像の共通理解 模擬授業 (提案授業) 若手塾
5月	学力向上プランの策定 学力調査の自校採点 学力調査の結果分析 <small>(自校)</small>
6月	計画訪問 授業交流 学力調査問題の出題傾向の把握
7月	
8月	学力調査の結果分析 (国県) 講師招聘
9月	学力向上プランの見直し 模擬授業
10月	研究授業 要請訪問
11月	授業交流
12月	学力調査採点・分析 校内研修
1月	
2月	授業交流
3月	検証 次年度の計画